

令和元年 12 月吉日

和歌山大学受験者 各位

和歌山大学硬式野球部

主務 荒木拓海

和歌山大学の受験に関するご相談・お問い合わせについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

大学受験を控えられている受験生、その保護者の皆様におかれましては、緊張や焦りを感じる日々が続いておられることと思います。受験生の皆様が、今まで培ってきた力を発揮できますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、和歌山大学硬式野球部では受験生の皆様に、受験に際して少しでもお力になることができればと考え、下記の通り受験に関する相談のご案内をさせていただきます。

和歌山大学の受験に関するご質問、和歌山大学硬式野球部に関するご質問がございましたら、下記の電話番号またはメールアドレスへご連絡ください。高校野球を経験された選手だけに限らず、大学から野球に携わってみたいと考えている方、マネージャーに興味をお持ちの方もぜひお気軽にご連絡ください。

敬具

記

1. 対象

和歌山大学推薦入試【教育学部・システム工学部（両学部共にセンター試験利用）】

和歌山大学一般入試【経済学部・教育学部（文系・理系・体育・美術・音楽）

システム工学部・観光学部 前後期入試】

※下線部分の教育学部入試は前期試験のみ

上記の入試方法で、和歌山大学入学試験の受験を検討されている受験生（浪人生含む）及び、その保護者の皆様

2. お問い合わせ先

ご相談・ご不明な点等ございましたら下記までご連絡ください。

担当：和歌山大学硬式野球部 主務 荒木拓海

電話：080-8530-3100（部携帯）

Mail：wubc89@gmail.com

以上

『和歌山大学で野球がしたい！！』

そんな気持ちを抱いている皆さん！そして和歌山大学への受験を考えている皆さんにお知らせです！ 和歌山大学硬式野球部では、下宿生活や受験、野球部についてなど、皆さんからの質問や相談を受け付けています。



今回は、和歌山大学硬式野球部の練習内容やチームの雰囲気・魅力、下宿生活や全体練習以外での過ごし方、連盟役員についてなど幅広くご紹介していきます。また、教育学部・経済学部・システム工学部・観光学部と4つの学部の特色等も現役部員からコメントをもらいました！ぜひ参考にしてください！！※より詳しい情報は和歌山大学のHPをご覧ください。

また、センター・一般入試の前にはブログにて対策やメッセージも更新していきますので、そちらもご覧ください！

☆お問い合わせはこちらまで☆

MAIL : wubc89@gmail.com

TEL : 080-8530-3100 (部携帯 : 主務 荒木拓海)

新4回生 主務 観光学部 荒木拓海 (兵庫県立明石城西高等学校)



初めまして。和歌山大学硬式野球部主務の荒木です。今回は和歌山大学硬式野球部のホームページに興味を持っていただき、ありがとうございます。受験生の皆さんに向けて、野球部や学部について少しずつですが、お力になれるよう紹介していきます！

現在、和歌山大学硬式野球部は部員 74 名で部長・副部長・監督・コーチ、OB・OG の方々また保護者の皆様にお世話になりながら活動しております。練習についてですが、平日は火・木の 4 限後 16 時 40 分から、土日祝日は 12 時からの午後練習の週 4 日間の練習となっています。使用している大学内のグラウンドが準硬式野球部・アメリカンフットボール部との兼用のため、高校野球のように毎日練習することができない現状です。練習日数・練習環境共に恵まれているとは言い難いですが、目標を目指して日々練習に取り組んでいます。

◎私たち和歌山大学硬式野球部は目標を「日本一」目的を「人間形成」と掲げながら活動しています。

地方の国立大学が「日本一」を掲げるなんて、と思う方もいらっしゃるかと思います。

3 年前の 2017 年度春季リーグにて創部以来リーグ初優勝を勝ち取り、出場した全日本大学野球選手権大会では全国ベスト 8 という結果を残した先輩方がいらっしゃいます。その先輩方を越えるため、私たちは「日本一」を目標として掲げています。また、目的の「人間形成」ですが、大学生 1 年目は社会人 1 年目という考えのもと、ひとりの大人としての自覚と責任ある行動が求められます。

◎チームの雰囲気は非常に明るいです。

練習中、試合中ともにチームメイトに声をかける姿が非常に多いことが特徴です。雰囲気が明るい要因の 1 つとして、学年関係なく仲が良いことが挙げられます。練習中にミーティングをする回数が多いのですが、その際も学年関係なく意見を言うことができる環境になっています。冬場のトレーニングではスタッフ含め全員で鼓舞しあい、厳しい練習を乗り越えています。

◎和大野球は「考える野球」がテーマです。

このテーマを聞いて、どんな野球をするのかと興味を持ってくださる方も多くいらっしゃると思います。様々な状況を考えながら野球をしている自分自身を俯瞰しなければならない野球が、考える野球です。自分自身も、今までの「野球観」とは全く違うものだったので、入部当初は大きく戸惑いました。この野球は体感しなければわからないと思うので、興味がある高校生の皆さんは是非体験しにグラウンドへお越しください！

新 2 回生 システム工学部 坂上昂汰 (桐蔭高等学校)



◎下級生から見たチームの雰囲気

和歌山大学硬式野球部は「考える野球」で日本一を目指して、コミュニケーションを多くとりながら、日々練習に励んでいます。上下関係が厳しいと思われがちですが、学年関係なく、アドバイスや意見が活発に飛び交い、互いに切磋琢磨し、良い雰囲気で練習やオープン戦ができています。フレンドリーな先輩方と共に、楽しく、ひた向きに野球に取り組んでいます!!

◎連盟役員について

リーグ戦運営に携わる連盟の学生委員という役割があります。連盟委員の仕事は主に、リーグ戦の試合運営の仕事です。得点盤やBSO装置の操作をしたり、スコアをつけたり、様々な仕事でやりがいがあります。連盟委員には他大学の学生の方もいるので、他大学生との新しい繋がりもでき、楽しくリーグ戦運営に携わることができます。

◎受験生へ

今はとても辛い時期で、焦りや不安が大きくなっていくかも知れませんが、受験の日に「あれだけ勉強したから大丈夫!」と思えるか、「もっと勉強しておけば良かった」と思ってしまうかは、ここからの頑張りで変わってくると思います。1日1日を無駄にせず、今の時間を大切に、悔いのない受験生としての日々を過ごしてください。必ずできる!自分に自信をもって頑張ってください!応援しています!

新3回生 経済学部 大城勇真 (沖縄尚学高等学校)



■下宿について

電車に乗り1時間30分程度で大学に来ることのできる人の大多数は実家から通っています。しかし、それ以外の人は和歌山大学へ原付で5分から20分を通える範囲内でアパートを借りて一人暮らしをしています。一人暮らしとは言っても、同じアパートに先輩がいたり、近くには必ず部員が住んでいるので何かあっても安心です。家賃は、3万円から4万円が平均です。そして、一人暮らしを考えている人に必須なのが原付です。和歌山大学は山の上にあるので、急な坂道を登って大学まで行くことになります。歩きや自転車で通えないこともあります。結構大変なので原付を持つことをお勧めします。また、和歌山大学のすぐそばに、学生寮とグリーンプラネットハウスという二つの寮があります。学生寮は月額4300円+水道代+光熱費で、ご飯はついていません。グリーンプラネットハウスは、月額55000円で朝、夕の食事つきです。食事の心配をしたくない人や友達を多く作りたい人にはお勧めです。

■アルバイト・食事について

野球部の練習日は、火・木（16時40分～21時）、土・日（12時～17時すぎ）の週4日間です。練習のない月水金と、土日の練習終わりに19時ごろからバイトに入れます。月々4万円から6万円はバイトで稼いでいる人が多いです。アルバイト先も野球部の先輩のいるバイト先に入る人が多く、バイト先も原付で15分圏内にたくさんあります。また、塾講師や飲食店でアルバイトする人が多いです。一人暮らしの人は、賄い(夕食つき)のある飲食店で働くことをお勧めします。

食事の面は、アルバイト先で賄いを食べる人がほとんどですが、頑張って自炊をしている人もいます。食材も近くに業務スーパーや、ドンキホーテがあり安く買うことができます。また、和歌山イオンでは学生証をサービスセンターにもっていけば、和歌山大学生のみ5%割引をしてもらえます。大学の近くに飲食店はたくさんあるので、練習の後には外食する部員も多いです。

大学生活もすぐ慣れますし、何ととっても近くに部員が多く住んでいたり、面倒見のいい先輩がたくさんいます。保護者の皆さん、一人暮らしを安心してもらって大丈夫です。

みなさんと和歌山大学硬式野球部と一緒に野球ができることを楽しみにしています。

新4回生 副主将 教育学部 檜尾一平 (和歌山県立向陽高等学校)



○ 浪人生にむけて

浪人生の方々が不安に感じることは、「練習についていけるのか？」だと思います。和歌山大学には浪人を経て入学してから野球を続けている人、そしてその後リーグ戦で活躍している先輩が多くいます。各々の野球に対する強い気持ちがあれば大丈夫だと思います。現在は勉強ばかりで人生の中でも最もつらく、しんどい時期だと思います。しかし、その一年を乗り越えて野球をすることで、今まで見えてこなかった観点で野球が見えてきたりすることがあります。野球がしたいという強い思いがあれば、ぜひ野球部に入ってほしいと思います。

○ ウェイトルームの使用について

和歌山大学には、大学が設置しているウェイトルームがあります。練習メニューで使用ということもありますが、主に授業の空きコマなどを利用して、各自ウェイトトレーニングなど自主練に励んでいます。自分も大学に入ってから先輩と共にウェイトルームに通い身体つきが変わりました。ベンチプレスは50Kgもあげることもできませんでした。100Kgをあげるできるようになりました。各自が自分に何が足りないかと考えてウェイトトレーニングに励んでいます。HP上のチームアバウトのページにウェイト器具も少し紹介しているのでそちらもご覧ください。

○ 受験生にむけて

受験というものは非常に厳しく、努力が成果に結びつかずに投げ出したくなるようなことがあると思います。結果が出ずに不安になることもあると思います。どうかあきらめずに最後まで努力をしてほしいと思います。結果は後からついてくるものです。今しか努力をすることはできません。今を後悔しないように受験生活乗り切ってほしいです。皆さんと野球ができることを楽しみに待っています。

教育学部

新4回生 安藤孔徳
(岐阜県立加納高等学校)



○学部の特徴

・〈早期から教育現場を体験し、教員としての実践力を養う〉

多様な教育実習を体験します。教育学部附属の小中学校や特別支援学校、公立の幼稚園、小中高校、特別支援学校に赴いて、実際に教育現場を体験するなかで課題を見つけ、指導法や教育者としてのあり方を考えていきます。また、本学の地域性を活かした特色ある取り組みとして、ホームステイ型の小規模校実習も実施しています。

・〈入学後にも変更できる自由なカリキュラム〉

「教員になりたい」と志望する学生でも、入学前から具体的に「〇〇の教員になる」という明確な目標を持っている学生ばかりではありません。和歌山大学教育学部では、1年次は幅広い分野の基礎を身につけ、自分が本当に学びたい分野を考える期間と位置づけ、2年次までにコースやプログラム、専攻を選べるカリキュラムを用意しています。教員をめざす学生はもちろん、教育関連の企業や官公庁をめざす学生にとっても安心して学べる環境があります。

・〈小学校の教員養成の機能を強化〉

初等教育コースに初等教育エキスパートプログラムと小中連携プログラムを設けて国立大学の強みである初等教育教員の養成機能を強化し、中等教育との連携を推進しています。

◎地域（紀南）推薦枠を設定

初等教育コースと中等教育コース（ともに文科系または理科系）に、紀南地域（和歌山県南部）の推薦枠を設けています。

・〈多様な児童生徒に対応した教育〉

全ての児童生徒には多様な教育ニーズがあることを前提とし、特別支援教育の理念と方法について幅広く学ぶことができる「インクルーシブ教育科目」を設けています。

○受験対策

・〈センター試験の得点が占める割合が大きい〉

センター試験の点数に余裕があれば、二次試験の際に受けるプレッシャーが軽減され、良いパフォーマンスを発揮できると思います。二次試験よりもまずはセンター試験で得点をとることを考えるべき！センター試験はマークシート方式で、数学では解法の誘導があったり、英語や国語には選択肢の文からある程度絞ることが出来たりと、それぞれ解き方のコツがあるため、とにかく実践的な問題をたくさん解きました。

また、センター試験は時間との闘いでもあるので、時間を計りながらマークシートの形式になれることが大切だと思います。また、配点の高い英語、国語は差がつきやすいのでより重点的に勉強しました。特に英単語、古語、漢文は毎日確認していました。

・〈本番で気を付けたこと〉

各教科の試験後に一喜一憂するのではなく、次の試験に備えることが大事だと思います。また、休み時間に友達と答え合わせのような終わった試験で不安になることはしない方がよいと思います。

また、休み時間は漠然と参考書を眺めるのではなく、苦手な問題や忘れやすい単語や公式をマークしておいて時間を有効に使うと良いと思います。マークミスは命取りになるので、こまめに見直す方が良いと思います。「自分はあれだけやったから大丈夫」と思えるぐらい事前に学習をやりこむことが、本番メンタルを安定させる一番の要因だと思います。

○メッセージ

和歌山大学硬式野球部では「考える野球」と掲げ、学生主体で学年関係なく、部員全員が自ら様々なことを考えながら野球に取り組んでいます。そのため、練習中には選手同士のミーティングを多く取り入れています。全国各地から集まった選手たちの様々な考えや、甲子園を経験した高いレベルの選手の考えを知ることができてとても面白いです。

このように大学野球には高校野球とは違った面白さがあると思います。高校まで野球を続けてきた皆さんには、たとえ和歌山大学ではなくても大学で野球を経験してほしいと思います。皆さんとグラウンドで一緒にプレーする日を楽しみにしています。

経済学部

新3回生 近藤快

(愛知県立天白高等学校)



○学部の特徴

経済学部の授業では、経済学の勉強だけでなく、法律学や経営学、会計学、情報学など、幅広い分野を学ぶことができます。また、和歌山大学経済学部には、将来の自分に必要な能力を身に付けるために6つのプログラムがあります。すべてのプログラムが社会で活躍できるプロフェッショナルへの道を目指すことを目的として設定されています。このように、大学生活は野球だけでなく、勉強にもしっかりと励んでいます。

○受験対策

受験勉強においては、とにかくインプットとアウトプットの繰り返し行い、知識を定着させることが非常に重要だと思います。一度解いたことのある問題が入試で必ず出題されるとは限らないですが、普段の一問を大切に積み重ねていけば、類似のパターンにも対応できると思いますし、運も味方してくれるはずです。

気持ちの面では、なかなか結果が出ず苦しくて勉強をやめたいと思うこともありました。が、国立大学で野球がしたいという目標のおかげでなんとか乗り越えられました。また、一人で抱え込まず友達との会話も増やすことで気持ちも楽になり、みんなも頑張っているから俺も頑張ろう、そう思えました。リラックス方法としては、音楽を聴いて外で散歩をしていました。自分の空間に入れますし、結構落ち着けるのでおすすめです。

○メッセージ

一番大切にしてほしいことは、自信をもって挑むことだと思います。受験に緊張はつきものですが、最後にカギとなるのはやはり自分を信じられるかどうかです。

成功への第一ステップはまず信じるということがあるように、自分はこれだけやったから大丈夫と思って臨めば、平常心かつプラスな気持ちで受験できると思います。今の時期は様々な苦しいとは思いますが、目標に向かって頑張ってください。皆様のご活躍を心から祈っています！

観光学部

新3回生 石丸日和

(長崎県立佐世保北高等学校)



○学部の特徴

観光学部は、観光学を構成する「観光経営」「地域再生」「観光文化」という3つの基本領域をコンセプトとして教育体系を再編成し、1学科3コースから成る新しいカリキュラムをスタートしました。国際的視点を育むために、専門科目の全てを英語による講義で履修可能となるグローバル・プログラムを導入するなど、様々な局面で異文化コミュニケーション力を涵養する教育環境を実現します。また、学際的視点を育むために、国内外の地域を対象として取り組んできた実践型教育をより一層拡充し、現代社会が抱える諸問題の解決に必要な「包括的対応力（ジェネリックスキル）」を養成します。

また、教員と学生が自治体と連携して地域課題の解決に取り組むプログラム（LIP）や海外の連携大学等と共同で取り組む（GIP）エリアスタディ等もあり、課外活動も豊富に用意されています。私も実際に1回生の時にはLIP（地域インターシップ）に参加し、かつらぎ町で子どもたちと課外活動をし、2回生ではGIP（Global Intensive Project）に参加し、1か月間カナダに短期留学しました。座学だけでなく、学外にフィールドを移し実際に体験できるプログラムが多くあるのも観光学部の魅力だと思います。

○受験の経験談とメッセージ

観光学部の入試にはAO入試、推薦入試、前期・後期入試の4つがあります。観光学部の3割程度がAO、推薦入試での入学者であるのも特徴です。私はセンター入試を受け、前期試験で入学しました。前期試験はセンター試験900点と個別学力検査600点の合計点数で決まり、個別学力検査では英語300点と数学または国語300点の合計になり、数学と国語の選択ができるため、国語が苦手な私には有利な配分でした。また、英語は長文がメインだったので二次試験対策の時期はひたすら多くの長文を読み単語数を増やしていきました。長文に慣れることが一番だと思います。

私は長崎出身で和歌山と遠かったため母とホテルに前泊しました。無駄に多くの勉強道具は持っていかず、今まで勉強してきた単語帳や参考書など2、3冊しか持っていきませんでした。新しい知識をこれだけ勉強したから大丈夫と自信を持ってください。当日は朝から散歩し、朝食をしっかりとって時間に余裕をもって会場入りすることで落ち着いて試験に臨めました。

受験勉強はきつく、投げ出したくなる時もあると思います。しかし全国の受験生が同じです！誰でも緊張します！そう思うと少しは気持ちも落ち着くと思います。大学生活は思っている以上に楽しくて充実しています。皆様のご健闘を心から祈っています！

システム工学部

新4回生 早川豊

(兵庫県立伊丹高等学校)



◎学部で勉強していること

和歌山大学システム工学部は10個の分野から自分の勉強したいことをふたつ組み合わせてコースを選択できるので、ほかの大学で勉強できるようなことはほとんどこの大学でも勉強できます。授業は国立大学ということもあって簡単ではないですが、生徒に対する教授の数が私立大学などと比べて多くなっているのです、より綿密な指導が受けられます。

◎受験対策

勉強してください（笑）。自分なりに努力すればある程度は結果が出ます。ですが受験は同じ志望校の相手がいるので、周りはどれくらいやっているんだろうという競争心をもって取り組んで欲しいです。また勉強するにあたって、和大野球部と同じように「考えること」を習慣づけてほしいです。やみくもにするのではなく、合格から逆算して今やるべきことをやるのが一番だと思います。

あとは、しんどくなったらサボってもいいと思います。見ているのは神様だけです。無理してできないことをやっても体を壊すだけなので、自分に一番合った方法を見つけてやってみてください。

◎受験生へメッセージ

システム工学部は野球をやりながら勉強と両立するのはかなり大変です。それでも、スキ間時間を見つけて勉強、あるいはトレーニングしたりすることで、やりがいがあって充実した学生生活が送れると思います。

受験は自分の将来のために行うことなので、自分一人という考えになりがちです。ですが、決してそんなことはなくて、家族、同じ野球部の仲間、監督、先生、あるいは塾に通っている人はその先生が皆さんを支えてくれています。それは目に見えないことかも知れませんが、そういうことを理解できて感謝の気持ちを持てる人が、自分の力に変えて結果につながると私は思います。

みんなと和歌山大学硬式野球部と一緒に野球ができる日を楽しみにしています！